

2020年1月1日に発効した日米貿易協定により、米国産輸入品の関税が引き下げられました。ここではコーヒー・茶・香辛料について、米国の対日輸出実績のある主な品目の関税について説明しております。詳細およびその他の品目についてはこちら <http://www.usdajapan.org/ja/usita/> をご参照ください。

品名日本の HS コード (税番)	基準税率	2026年度	2027年度	2028年度	最終関税率 (年度)	2025年米国からの輸入額 (千円)
煎ったコーヒー、カフェインを除いていないもの 090121000	12.0%		無税		無税 (2019)	5,333,373
部分発酵した茶 (正味重量が 3 kg 以下で直接包装) 090230090	17.0%		無税		無税 (2023)	345,017
煎ったコーヒー、カフェインを除いたもの 090122000	12.0%		無税		無税 (2019)	304,714
インスタントコーヒー、無糖 210111210, 210112121	8.8%		無税		無税 (2019)	259,866
インスタントティー, 210120110	10.0%		無税		無税 (2019)	153,704
紅茶 (正味重量が 3 kg 以下で直接包装) 090230010	12.0%		無税		無税 (2023)	88,767
茶の調製品、無糖、ミルクの天然の組成分の含有量が全重量の 30% 未満のもの, 210120247	15.0%		無税		無税 (2023)	73,507
茶またはマテのエキス、エッセンスおよび濃縮物、インスタントティー以外, 210120120	8.0%		無税		無税 (2019)	47,475
コーヒーのエキス、エッセンスおよび濃縮物、無糖、インスタントコーヒー以外, 210111290, 210112122	15.0%		無税		無税 (2019)	29,524
紅茶 (飲用に適さないくずを除く)、(正味重量が 3 kg 以下で直接包装), 090240210	3.0%		無税		無税 (2019)	18,567
緑茶 (発酵以外) (正味重量が 3 kg 以下で直接包装), 090210000	17.0%		無税		無税 (2023)	11,407
その他の香辛料および異なる項 (第 09.04 項から第 09.10 項まで) の 2 以上の物品の混合物、小売用容器入りにしたもの, 091091210	3.6%		無税		無税 (2019)	6,609
チコリーその他のコーヒー代用物 (煎ったもの) 210130000	6.0%		無税		無税 (2019)	4,698

コーヒーの調製品、無糖、ミルクの天然の組成分の含有量が全重量の 30% 未満のもの, 210112249	15.0%	無税	無税 (2023)	1,761
ペッパー、破碎または粉碎したもの、小売用容器入りしたもの, 090412100	3.0%	無税	無税 (2019)	0

市場概況：日本はほぼ全てのコーヒー豆を輸入しており、2025 年の輸入量は約 39 万トン。ほとんどの輸入コーヒーはカフェインが含まれている(>99%)。コーヒーの消費量は 2018 年頃に頭打ちとなっている一方、緑茶の消費量は減少している。緑茶は大部分が国内産である。紅茶の人気は高まる傾向にあるが、緑茶と比べると消費量は依然として少なく、2024 年の消費量は緑茶が約 68,000 トン、紅茶が約 15,000 トンだった。2025 年に日本は約 10.2 万トンの香辛料を輸入している。植物検疫証明書の要否は香辛料の種類によって異なるので、輸入業者を通じて日本の植物防疫所に相談すること。日本は香辛料について照射処理を認めていない。

お問い合わせは、アメリカ大使館 農産物貿易事務所 (atotokyo@usda.gov、電話：03-3224-5115) まで。

最終更新日：2026 年 3 月 31 日